

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営の基本方針

次世代の人々が地球を理解し、レジリエントな未来を実現するための新たなインフラをつくる

衛星運用機数
30機

SAR市場規模
1.89兆円

② 中長期の経営戦略

1. 短期：日本政府向けデータ販売

衛星コンステレーションの構築・運営等事業など防衛需要を軸に安定した収益基盤を構築。政府補助金活用

3. 長期：余剰データ活用で高収益化

自動解析技術を横展開。インフラ・資源エネルギー・金融・保険向けに販売先を広げ利益率向上

2. 中期：海外展開とソリューション立上げ

30機コンステレーションで1時間以内データ提供。海外政府向けデータ販売拡大と民間ソリューション開始

4. グローバル拠点展開

シンガポール拠点（既設）、米国子会社（2025年3月）、欧州子会社（2026年2月）を設置予定

③ 対処すべき課題

① SAR衛星供給力の拡大

- ・防衛領域の世界的需要に対し供給側プレイヤー5社に限定。衛星数増加が売上拡大に不可欠

② 国産衛星での市場優位性確保

- ・防衛省発注で日本国法人による国産衛星が要件。日本本社企業としての競争優位を活かす必要

③ ソリューション開発能力の構築

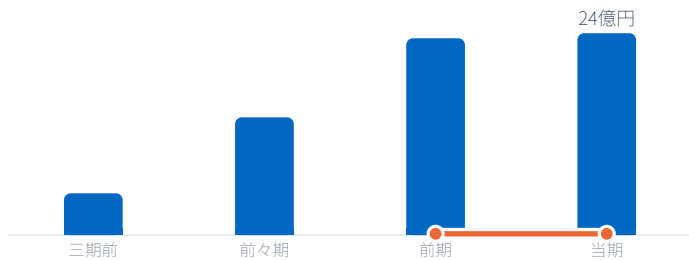
- ・自動解析技術と組込能力が自社独自の強み。民間市場展開時に技術優位性発揮が重要

面接で使えるポイント

- ・防衛省『衛星コンステレーション整備・運営等事業』で2,832億円の予算獲得…
- ・世界5社のSAR衛星事業者の中で日本唯一。小型化の技術的難易度が参入障壁となり当面競争環境は限定的
- ・宇宙戦略基金1兆円のうち約3,000億円が2024年確保。当社は商業衛星コンステレーション加速化で164.4億円交付決定

証券コード 290A

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
24億円営業利益率
▲174.1%財務健康度
47点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 56.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
902万円

情報・通信業内 55位/592社

平均年齢
39.7歳

情報・通信業内 204位/593社

平均勤続
3.2年

情報・通信業内 504位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株)Synspective【290A】：決算情報

